

# 前期学校評価報告

学校評価のご協力ありがとうございました。

## ～学校・家庭・地域と共に子どもを育むために～

20年度前期の学校評価アンケートにご協力いただき有難うございました。

特に、保護者の皆様には19年度後期同様、全家庭の約94%という多くの皆様から回答を頂き、その一枚一枚全てに目を通させていただけました。

自由記述欄にお書きいただきました皆様方からのご意見には、学校の取組や教職員の姿勢、子たちの姿から高く評価していただいた内容と共に日常の様子から改善点を指摘していただいた内容などがありました。

皆様方からいただきました評価と自由記述の総てのお声の一つ一つにつきましては全教職員が目を通させていただき、学校として真摯に受け止めさせていただきました。これを、今後の本校教育活動の充実・発展に繋げていくように活用させていただきたいと考えておりますのでご理解をお願い致します。

20年度の学校評価（前期）の集計結果をお知らせします。

今回も、児童・保護者・地域・教職員を対象に、受け止めの比較ができるようにし、前年度の結果とも比較しながら課題を明らかにし、今後の学校の取組に生かしていきたいと考えております。

「4」あてはまる

「3」ややあてはまる

「2」あまりあてはまらない

「1」あてはまらない

「0」無回答

## 1. 学校生活

子どもは楽しい学校生活を送っていると思われませんか（保護者）

学校生活は楽しいですか（児童）

子どもたちが楽しく学校生活を送れるように状況把握に努めている（教職員）

保護者（497名）	児童（667名）	教職員（30名）
「4」73%	「4」64%	「4」53%
「3」25%	「3」28%	「3」47%
「2」1%	「2」6%	「2」0%
「1」0%	「1」2%	「1」0%
「0」1%	「0」0%	「0」0%

学校生活の面では、児童も保護者も「4」「3」の評価が多数を占めました。

前回の結果と比較しても「おおむね学校生活を楽しんでいる」という児童の数値は微増しているものの、保護者の1%、児童の8%にみられる、「学校生活が楽しい」と実感していない結果を重く受け止めたいと思います。

これは、教職員の児童の状況把握の点で弱さが見られることと合わせて考えた時に

子どもの表情や言動などの姿から察知するきめの細かい日常の観察や教職員相互の報告・連絡・相談，家庭や地域との密な連携をより確かにして子どもを見守る取組を充実していく必要があると考えています。

## 2. 学習

子どもに基礎基本の学力がついていると思われませんか（保護者）  
 勉強はわかりますか（児童）  
 子どもに基礎基本の学力をつけることを大切にして指導にあたっている（教職員）

保護者	児童	教職員
「4」 46%	「4」 50%	「4」 50%
「3」 45%	「3」 44%	「3」 50%
「2」 7%	「2」 6%	「2」 0%
「1」 0%	「1」 0%	「1」 0%
「0」 2%	「0」 0%	「0」 0%

子どもに分かりやすい授業を進めていると思われませんか（保護者）  
 子どもに分かりやすい授業を進めることができた（教職員）

保護者	教職員
「4」 55%	「4」 20%
「3」 39%	「3」 77%
「2」 2%	「2」 3%
「1」 0%	「1」 0%
「0」 4%	「0」 0%

では学力に対して，児童の自己評価で「2」「1」が3%改善は見られたものの，依然として児童の6%，保護者の7%が勉強したことが十分に理解できていないと回答しています。

また，の分かりやすい授業を進めるという点では，保護者・教職員とも「4」「3」が94%～97%ですが，保護者の2%教職員の3%が，まだ不十分であると回答しています。

の結果から，前回調査結果と比べると少し改善の傾向は見えるもの学習の主体者である子どもの受け止めている結果を最重要と捉えた時に，6%の子どもが学習した内容に対して「わかった」という実感が持てていない状況を深く受け止め，指導した内容が全ての子どもに届くよう授業の工夫改善と学習結果の点検・補充にさらに努力したいと考えます。

## 3. 人権教育

学校は一人一人の人権を大切にした教育活動を行っていると思われませんか（保護者）  
 先生は一人一人を大切にしてくれていますか（児童）  
 日々の実践で，子ども一人一人を大切にしよう努力している（教職員）

保護者	児童	教職員
「4」 49%	「4」 60%	「4」 80%
「3」 41%	「3」 30%	「3」 20%
「2」 4%	「2」 9%	「2」 0%
「1」 0%	「1」 1%	「1」 0%
「0」 6%	「0」 0%	「0」 0%

前回調査とほぼ同じ結果で、保護者・児童の9割が「4」「3」と回答されていて大切にされていると受け止めていただいている一方、1割の児童が大切にされているという実感を持ちえていない状況にも顕著な変化が見られていない結果を重く受け止めたいと思います。

児童一人一人を大切にすることは、本校教育活動の根幹に関わる問題であるとの認識の中で、平均すれば学級に3～4人もの児童が大切にされている実感を持ちえていないことに対しては、今以上に一人一人の児童としっかり向き合った温かできめの細かい日常の実践ができるように教職員相互の力量を高めていきたいと考えます。

#### 4. 家庭生活

子どもは家庭で学校のことや友だちのことを話していますか（保護者）  
お家の人と学校のことや友だちのことを話していますか（児童）

保護者	児童
「4」 52%	「4」 57%
「3」 34%	「3」 24%
「2」 10%	「2」 14%
「1」 3%	「1」 5%
「0」 1%	「0」 0%

#### 5. 基本的生活習慣

家庭で、子どもに挨拶・習慣を大事にされていますか（保護者）  
あいさつや早寝・早起き・朝ごはんに気をつけて生活していますか（児童）  
子どもたちはあいさつをしていますか（地域）  
子どもが挨拶できるように常に自分も心がけていますか（教職員）

保護者	児童	地域	教職員
「4」 63%	「4」 43%	「4」 57%	「4」 77%
「3」 34%	「3」 38%	「3」 31%	「3」 20%
「2」 3%	「2」 14%	「2」 6%	「2」 3%
「1」 0%	「1」 5%	「1」 6%	「1」 0%
「0」 6%	「0」 0%	「0」 0%	「0」 0%

前回調査結果と比較すると、この項目では地域の皆様の受け止め以外は数値に改善が見られます。地域に皆様には子どもたちの挨拶の様子についてお聞きしたもので、子どもたちが近所の大人の方と顔を合わせた時や地域の方と学校で顔を合わせた時に地域の方が感じられた結果です。

子どもたちには近所の顔見知りの方や学校に来られた多くの来校者にも自分から進んで挨拶ができるように指導を重ねて参りたいと考えております。

挨拶や早寝・早起き・朝ごはんなど基本的な生活習慣は、子どもたちの学習活動や意欲を支える源です。特に朝のスタートがその日の頑張りを左右する場合も往々にしてあるように感じています。

みんなで協力して、子どもたちには必ずつけたい力です

## 6. 特性・個性の伸張

学校は子どもの持つ良さや可能性を引き出そうと努力している（保護者）  
 自分でがんばっていることがありますか（児童）  
 子どもの良さや可能性を引き出し、伸ばすように努めている（教職員）

保護者	児童	教職員
「4」 44%	「4」 72%	「4」 50%
「3」 41%	「3」 20%	「3」 50%
「2」 7%	「2」 5%	「2」 0%
「1」 0%	「1」 3%	「1」 0%
「0」 8%	「0」 0%	「0」 0%

前回調査との比較では、保護者、児童、教職員の対象者全てで「4」「3」の評価に改善傾向が見られました。

子どもたちには機会あるごとに、「自分の目標を持つ」「毎日続けることが大きな力になる」ということを話しています。

したがって学校は可能な限り様々な刺激や機会などの「場」作りに努力をしていますが、今後においても、子どもたちの個性・特性を引き出し様々な経験やチャレンジができる機会を充実していきたいと考えております。

保護者の皆様や地域の皆様のご理解とご協力をよろしくお願いいたします。

## 7. 情報発信

学校は取組や様子を分かりやすく伝える工夫や努力をしている（保護者）  
 学校は取組や様子を分かりやすく伝える工夫や努力をしている（地域）  
 「学級通信」や「週予定表」などで、学校や子どもの様子を分かりやすく伝えるようにしている。  
 （教職員）

保護者	地域	教職員
「4」 52%	「4」 88%	「4」 49%
「3」 37%	「3」 12%	「3」 45%
「2」 6%	「2」 0%	「2」 6%
「1」 1%	「1」 0%	「1」 0%
「0」 4%	「0」 0%	「0」 0%

こうした学校評価の結果も含め、学校のホームページの活用、校門横の地域用掲示板（正門横と南門）への藤ノ森ニュースの掲示、毎月の学校便りの回覧等、学校の様子を校内だけに止めず、子どもたちの様子や学校の取組について保護者をはじめ地域の人たちにも知っていただくことで、より多くの方に本校の教育活動を理解していただきたいと考えて取組を進めております。

また、各学年・学級におきましても「学級便り」「学年だより」を通じまして子どもたちの学習内容や取組・出来事などホットな情報も保護者の皆様にはお伝えするようにいたしております。

その上で、今以上に学校・家庭・地域が子どもたちを中心に連携を深め人と人とのつながりを大切にしていくなかで地域ぐるみで子どもたちを育てていきたいと考えておりますので、皆様方のご理解とご協力をよろしくお願いいたします。